



展覧会概要

浮世絵には、子どもをめぐる江戸文化のあり方を伝えてくれる作品が少なくありません。美人画、役者絵、風景画を代表的主題として認識することの多い浮世絵ですが、子どもを題材とした浮世絵もまた重要な分野であり、大きな需要があったことは特筆すべきでしょう。親は子を宝として守り育て、ふれあいを大切に、心づくしの玩具や屋内外での遊びの機会を与えました。一方で、寺子屋での学習や諸芸の稽古事にも熱心で、江戸の子どもたちは十分な教育を受けていたのです。注目すべきことは、これらの子どもを巡る光景がありきたりの日常であったにも関わらず、絵の主題となり、それを購買する人が多くいたという点です。幕末・明治期に来日した多くの外国人が、日本の子どもが非常に大切にされ、幸福そうにしていることを印象深く書き残し、日本を「子どものパラダイス」とさえ評しています。子どもたちを無条件に愛し、守るべき愛らしい存在として描いてきた浮世絵は、美術的価値ばかりでなく、親が子どもを守り育てる本来のあり方を示してくれているようでもあります。本展覧会では、I 子どもへの愛情、II 子どもの成長を願う、III 江戸は教育熱心、IV 遊び好き・いたずら好き、V キッズ大行進―やつし絵・見立絵―、VI 子どもの好きなお話、という6つのコーナーに分け、公文教育研究会所蔵の子ども浮世絵コレクションを中心に約300点を展示します。

※ 会期中に大幅な展示替があります。前期：7月8日(火)～8月3日(日) / 後期：8月5日(火)～8月31日(日)

- 会期 2014年7月8日(火)～8月31日(日)
 - 主催 千葉市美術館、東京新聞
 - 特別協力 公文教育研究会
 - 企画協力 マンゴスティン
 - 開館時間 10:00～18:00 金・土曜日 10:00～20:00 * 入場受付は閉館の30分前まで
 - 休館日 第1月曜日(8月4日)
 - 観覧料 一般 800円(640円) 大学生 560円(450円)
- * 小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
 *()内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金
 * 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(6月29日まで)、
 ローソンチケット[Lコード:35731]、セブンイレブン[セブンコード:031-042]および、
 千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(8月31日まで)にて販売

親子割引
 一般 500円!!
 (高校生以下のお子様とご一緒にご来館の保護者2名まで)

ごひいき割引
 本展チケット(有料)
 半券のご提示で、
 会期中2回目以降の観覧料2割引!!

見どころ



■ 公文教育研究会のコレクションとは…

本展は公文教育研究会の「子ども浮世絵」コレクションを中心に、浮世絵に描かれた子どもたちをめぐる文化をご紹介する展覧会です。公文教育研究会は、1986年から収集をはじめ、現在では3,200点におよぶ資料を所蔵しています。「子ども浮世絵」に特化したそのコレクションは、世界でも非常に稀なものです。

■ 「子ども浮世絵」をテーマにした大規模展覧会！

これまで「子ども浮世絵」をテーマにした展覧会は各地で開催されてきましたが、本展はその中でも初めてといえる大規模なものとなります。公文教育研究会のコレクションだけでなく、当館所蔵の浮世絵も展示。開館以来浮世絵を紹介し、コレクションも豊富な当館ならではの企画となっています。

■ 子どもと一緒に鑑賞！

子どもをテーマとした展覧会のため、親子での鑑賞をサポート！「おやお割引」（高校生以下のお子様と一緒にご来館の保護者2名までは入館料が500円になります）を用意しています。また、こども向けのイベントも充実。子どもに着想を得た曲などを演奏するコンサートや、昔の遊びや飴細工を体験できる緑日、子どもだけの来館と鑑賞をサポートするギャラリークルーズなど、夏休みにぴったりのイベントが盛りだくさんです。

関連企画



■ 講演会

「浮世絵師たちの“子ども絵”腕くらべー歌麿・広重・国芳を中心にー」
講師：中城正堯（江戸子ども文化研究会主宰・国際浮世絵学会理事）
7月19日（土）／14:00～（13:30開場）／11階講堂にて／聴講無料
先着150名（当日12:00より11階にて整理券配布）

「祈りをまとうーアジアの服飾に見る子どもの成長祈願」
講師：吉村紅花（文化学園服飾博物館 学芸員）

8月9日（土）／14:00～（13:30開場）／11階講堂にて／聴講無料
先着150名（当日12:00より11階にて整理券配布）

■ さや堂de音楽會「童心憧憬」

出演：関根彰良（ギター）、ゲスト：黒沢綾（ヴォーカル）
子守唄、ジャズなどから、子どもを歌う曲、子どもに着想を得た曲をお送りします。
7月27日（日）／14:00～15:00／1階さや堂ホールにて／参加無料
先着150名（当日12:00より1階さや堂ホール入口にて整理券配布）

■ 折り変わり絵コンテスト

江戸の紙遊び「折り変わり絵」の作品を募集します。
優秀作品は複写の後、8月17日（日）「美術館で緑日!!」（下記参照）で、来館者が遊べるよう展示します。
応募締め切り：8月8日（金）美術館必着
※作品例と応募条件の詳細は美術館ホームページをご覧ください。

■ 特別企画「美術館で緑日!!」

「千葉の親子三代夏祭り」「妙見大祭」に湧く千葉の休日、花輪茶之介さんによる飴細工の実演ほか、様々なお楽しみブースをご用意します。大人も子どもも緑日気分をお楽しみください。※会場の出入りは自由です。
8月17日（日）／13:00～17:00／1階さや堂ホールにて
参加・協力団体：千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉市科学館、美術館ボランティアほか

■ 「中学生のためのギャラリークルーズ」14

7月25日（金）、26日（土）／10:00～15:00随時受付（所要時間30分程度）
子どもだけの来館と鑑賞を美術館ボランティアスタッフがサポートします。一人でもグループでも参加可。夏休みの宿題（展覧会鑑賞）にも対応できます。参加希望の方は8階展示室へお越し下さい。

■ ギャラリートーク

担当学芸員による 7月9日（水） 14:00より
ボランティアスタッフによる 会期中の毎週水曜日（7月9日を除く）
※水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
※混雑時は中止する場合があります。

■ 市民美術講座

「江戸の子どもと浮世絵」
7月26日（土）／14:00より／11階講堂にて／聴講無料
講師：田辺昌子（当館学芸課長）
先着150名



千葉市美術館 プレスリリース

同時開催

所蔵作品展 「スモールワールド」

こども、犬と猫、虫…。小さきものはみなうつくし。

日本絵画に描かれてきた、小さいものたち、小さな情景に寄せる大きな愛着を、所蔵品の中にとどります。

※「江戸へようこそ！ 浮世絵に描かれた子どもたち」展をご観覧の方は無料

関連企画

■ 市民美術講座

「所蔵作品展 小さきものたちの宇宙」 講師:松尾知子(当館学芸係長)

8月23日(土)/14:00より/11階講堂にて/先着150名様/聴講無料



長澤蘆雪《花鳥蟲図巻》(部分)
寛政7(1795)年 千葉市美術館蔵

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

7月8日(火)/14:00より(1時間程度)/10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

次回展予告

かぶらききよかた

「鎗木清方と江戸の風情」 会期:9月9日(土)~10月19日(日)

近代を代表する日本画家・鎗木清方(1878-1972)は、生涯を通じて幼時に親しんだ江戸の風情を愛し、描き続けました。季節の風物やさりげない日常の細部を大切にその姿勢は、まさに江戸の浮世絵師に通うものといえます。本展は鎌倉市鎗木清方記念美術館の協力を得て日本画の代表作や挿絵、素描、版画作品約100点を集め、「江戸の風情」をテーマに清方の芸術を再考します。



鎗木清方《ためさるゝ日》1918年頃
鎌倉市鎗木清方記念美術館蔵

交通案内

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311 (代) / FAX. 043-221-2316

<http://www.cma-net.jp>

◎ JR 千葉駅東口より

- ・徒歩約15分
- ・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「葎川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

江戸へようこそ！ 浮世絵に描かれた子どもたち



1. 勝川春章
《正一位三圓稻荷大明神》
天明期(1781-89)
(後期展示)



2. 鈴木春信
《夏姿 母と子》
明和4-5年(1767-68)頃
(前期展示)



3. 喜多川歌麿
《夢にうなされる子どもと母》
寛政(1789-1801)後期
(前期展示)



4. 歌川国芳
《幼童席書会》
弘化期(1844-47)頃
(後期展示)



5. 歌川豊国
《風流てらこ吉書はじめけいの図》
享保4年(1804)
(後期展示)

*すべて公文教育研究会蔵

*会期中に大幅な展示替えあり

前期:7月8日(火)~8月3日(日) / 後期:8月5日(火)~8月31日(日)

「江戸へようこそ！ 浮世絵に描かれた子どもたち」展
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉県美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 勝川春章 《正一位三囲稲荷大明神》天明期(1781-89) 公文教育研究会蔵（後期展示）
2. 鈴木春信 《夏姿 母と子》明和4-5年(1767-68)頃 公文教育研究会蔵（前期展示）
3. 喜多川歌麿 《夢にうなされる子どもと母》寛政(1789-1801)後期 公文教育研究会蔵（前期展示）
4. 歌川国芳 《幼童席書会》弘化期(1844-47)頃 公文教育研究会蔵（後期展示）
5. 歌川豊国 《風流てらこ吉書はじめけいこの図》享保4年(1804) 公文教育研究会蔵（後期展示）

*会期中に大幅な展示替えあり
前期：7月8日(火)～8月3日(日)／後期：8月5日(火)～8月31日(日)

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5組10名様分 希望します。
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先
千葉県美術館 〒260-8733 千葉県中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313(直通)
Fax. 043-221-2316
HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員：田辺昌子
広報担当：磯野 愛



記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

7月8日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて

*その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX(043-221-2316) までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.cma-net.jp/>